

土壌肥料学若手の会 2021@Hokkaido 開催案内

「土壌肥料学若手の会 2021@北海道」を下記の要領で開催いたします。

今年度は第一部と第二部の二部構成で行います。オンライン形式かつ無料ですので、ご自宅や研究室からお気軽にアクセスしていただけます。

昨年、今年と直接顔を合わせて話す機会が少ない中において、学生会員、若手会員の皆さまにとって、他分野・他地域の方々とのつながり築ききっかけにさせていただけることを願っております。皆さま奮ってご参加ください！

(1) 開催概要

- ・ 第一部：9月13日 19:00-20:00「自己紹介・研究発表 PR 大会」
- ・ 第二部：9月17日 13:00-14:30 シンポジウム「研究者・技術者としての働き方」
- ・ 開催方式：両日とも zoom (参加申し込み者に zoom の会議室情報をメールします)
- ・ 参加費：両日とも無料
- ・ 対象：土壌肥料学会に所属する学生会員、若手会員（年齢は問いません）の皆さま（配属間もない学部生や学会員でない方など、北海道大会で発表されない方も歓迎します）
- ・ 申し込み：(3)のフォームよりお申し込みください。

(2) 企画紹介

第一部：「自己紹介・研究発表 PR 大会」(9月13日 19:00-20:00)

若手会員同士、お互いの顔と名前、どのような研究を行なっているかを知り合う場として、自己紹介や取り組んでいる研究テーマについて紹介していただきます。また研究発表予定の方は PR タイムを設けます。

【自己紹介・研究発表 PR の方法】

- ・ 持ち時間は自己紹介：30秒以内、研究発表 PR：1分以内とします。
- ・ 研究発表 PR では、異分野の会員にも自身の研究を知ってもらうことを意識し、研究の背景・位置付けや課題へのアプローチ方法、得られた成果の意義などについて PR してください。
- ・ 研究発表 PR で使用できる資料は1枚（もしくは1点）までとします。（口頭説明だけでも大歓迎です！）
- ・ 説明資料の内容は、模式図や写真、フローチャートなど、異分野の人が研究の内容や様子をイメージしやすくなるものとします。
- ・ 資料の表示方法は、zoom の画面共有機能、背景機能、カメラの前に実物表示など形式は問いません。

第二部：シンポジウム「研究者・技術者としての働き方」(9月17日 13:00-14:30)

学会に参加される学生の皆さまの中には、研究職や技術職のように専門を活かした職業に興味がある方も多いのではないのでしょうか。そのような働き先には、大学や公的な試験・研究機関、民間企業、行政などさまざまあります。今回はこれら中から、国と北海道の試験・研究機関でのキャリアをお持ちの2人の講師を招き、これまでのご経験を基に、それぞれのキャリアパスや組織ごとの特色、やりがいや苦労話などを伺いたいと思います。

【講師・タイムスケジュール】

- ・ 13:00-13:05
開会、概要説明
- ・ 13:05-13:40
南川 和則博士 (国際農林水産業研究センター)
(13:40-13:45 講師交代、小休憩)
- ・ 13:45-14:20
志賀 弘行博士 (ホクレン農業協同組合連合、元 北海道立総合研究機構農業研究本部)
- ・ 13:20-13:25
閉会

※本シンポジウムでは、質疑応答は各講師の発表時間内に行います。質問内容は、発表中のzoomのチャット機能と、参加申し込み用フォーム中の事前質問記述欄にて募集いたします。

【講師情報 Research map】

志賀 弘行博士

<https://researchmap.jp/read0144649>

南川 和則博士

<https://researchmap.jp/minakazu>

(3) 参加申し込み方法

以下の参加申し込みフォーム (google form) より、登録をお願いいたします。

<https://forms.gle/yDEBnRCY1QragDoD8>

土壌肥料若手の会 2021 実行委員

十勝農業試験場 石倉 究 (代表・問い合わせ先: ishikura-kiwamu@hro.or.jp)

寒地土木研究所 長竹 新

北海道大学農学院 三原 州人